

2017年度生 一般基礎科目

系列	授業科目	開講期（必修◎/選択○）				単位数	授業回数	授業形態			備考
		1年次	2年次	3年次	4年次			講義	演習	実習	
		春 秋	春 秋	春 秋	春 秋						
一般基礎科目											
人間と文化	人間の心理		○			2	15	●			[人間と文化]から1科目以上修得すること
	文学と人生		○			2	15	●			
	生活と文化		○			2	15	●			
	人間と芸術		○			2	15	●			
	福祉学		○			2	15	●			
	生命倫理学		○			2	15	●			
	世界から見た日本の文化		○			2	15	●			
歴史と社会	日本の歴史		○			2	15	●			[歴史と社会]から1科目以上修得すること
	外国の歴史		○			2	15	●			
	政治の仕組		○			2	15	●			
	社会の構造		○			2	15	●			
	経済の仕組		○			2	15	●			
	生活と法律		○			2	15	●			
	日本国憲法		○			2	15	●			
	世界と日本		○			2	15	●			
	企業情報特論		○			2	15	●			
保健	健康の科学		○			2	15	●			[保健]から1科目以上修得すること
	スポーツ実技		○			1	15			●	
その他	リスク危機管理論		◎			2	15	●			
	教養特別講義		○			2	15	●			
	企業等体験実習		○			2	30	●		●	
外国語Ⅰ	英語Ⅰ	○				1	15		●		日本語を母国語とする学生は[外国語Ⅰ～Ⅳ]より各1単位以上、合計4単位以上修得すること
	日本語Ⅰ	○				1	15		●		
	日本語理解Ⅰ	○				1	15		●		
外国語Ⅱ	英語Ⅱ		○			1	15		●		ただし、日本語科目は日本語を母国語としない学生のみ履修できる
	日本語Ⅱ		○			1	15		●		
	日本語理解Ⅱ		○			1	15		●		
外国語Ⅲ	実用英会話Ⅰ		○			1	15		●		日本語を母国語としない学生は、[外国語Ⅰ～Ⅳ]より日本語科目8単位を修得すること
	英文講読Ⅰ		○			1	15		●		
	中国語Ⅰ		○			1	15		●		
	韓国語Ⅰ		○			1	15		●		
	日本語Ⅲ		○			1	15		●		
	日本語表現Ⅰ			○		1	15		●		
外国語Ⅳ	実用英会話Ⅱ			○		1	15		●		
	英文講読Ⅱ			○		1	15		●		
	中国語Ⅱ			○		1	15		●		
	韓国語Ⅱ			○		1	15		●		
	日本語Ⅳ			○		1	15		●		
	日本語表現Ⅱ				○	1	15		●		

卒業要件（一般基礎科目）：16単位以上

注1 英語の単位に対しては、TOEICおよびTOEIC-IPの得点によっても単位を認定する。

TOEIC 400点以上 … 外国語Ⅰ（英語Ⅰ）より1単位

TOEIC 500点以上 … 外国語Ⅰ（英語Ⅰ）、外国語Ⅱ（英語Ⅱ）より2単位

TOEIC 600点以上 … 外国語Ⅰ（英語Ⅰ）、外国語Ⅱ（英語Ⅱ）、外国語Ⅲ（実用英会話Ⅰ）より3単位

TOEIC 700点以上 … 外国語Ⅰ（英語Ⅰ）、外国語Ⅱ（英語Ⅱ）、外国語Ⅲ（実用英会話Ⅰ）、外国語Ⅳ（実用英会話Ⅱ）より4単位

注2 日本語の単位に対しては、日本語能力試験によっても単位を認定する。

日本語能力試験 N1 … 日本語Ⅰ～Ⅳの4単位

注3 日本語を母国語としない学生は、2年次進級までに日本語能力試験N2を取得しなければならない。

2017年度生 看護学部 看護学科 専攻科目

系列	授業科目	開講期(必修○/選択○)								単位数	授業回数	授業形態			備考		
		1年次		2年次		3年次		4年次				講義	演習	実習		実験	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋								
専攻科目																	
専門基礎科目	からだの構造と機能Ⅰ(解剖学)	○								1	15	●			[専門基礎科目]から、いのちと生活Ⅳ(薬と危機管理)、医療専門職連携導入、医療専門職連携発展のいずれか1単位以上を含む28単位以上修得すること		
	からだの構造と機能Ⅱ(生理学)	○								2	30	●					
	健康の回復促進Ⅰ(病態治療学総論)			○						2	15	●					
	健康の回復促進Ⅱ(薬理学)			○						2	15	●					
	いのちのしくみⅠ(生化学)		○							1	8	●					
	いのちのしくみⅡ(微生物学)		○							1	8	●					
	こころを科学するⅠ(発達心理学)		○							2	15	●					
	こころを科学するⅡ(人間関係論)		○							2	15	●					
	いのちと生活Ⅰ(栄養学)		○							2	15	●					
	いのちと生活Ⅱ(疫学)			○						2	15	●					
	いのちと生活Ⅲ(生活と危機管理)				○					2	15	●					
	いのちと生活Ⅳ(薬と危機管理)					○				1	8	●					
	健康と社会の仕組みⅠ(保健福祉行政論)					○				3	23	●					
	健康と社会の仕組みⅡ(保健医療統計)				○					2	15	●	●				
	健康と社会の仕組みⅢ(社会福祉論)					○				1	8	●					
	健康と社会の仕組みⅣ(情報危機管理)	○								2	15	●	●				
	医療専門職連携導入			○						1	8		●				
	医療専門職連携発展							○		1	8		●				
	専門科目	基盤看護学概論	○								2	15	●				
		看護理論		○							2	15	●				
基盤看護技術論Ⅰ(生活の援助技術)			○							2	30	●	●				
基盤看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント・コミュニケーション)			○							1	15	●	●				
基盤看護技術論Ⅲ(診療の援助技術)				○						2	30	●	●				
基盤看護技術論Ⅳ(看護過程)				○						1	15	●	●				
基盤看護学実習Ⅰ		○								1	23			●			
基盤看護学実習Ⅱ					○					2	45			●			
小児看護学概論				○						1	8	●					
母性看護学概論				○						1	8	●					
小児病態治療学					○					1	8	●					
母性病態治療学				○						1	8	●					
小児看護援助論Ⅰ					○					1	15	●	●				
小児看護援助論Ⅱ						○				1	15		●				
母性看護援助論Ⅰ					○					1	15	●	●				
母性看護援助論Ⅱ						○				1	15	●	●				
小児看護学演習							○	(○)		1	15		●				
母性看護学演習								○	(○)	1	15		●				
小児看護学実習							○	(○)		2	45			●			
母性看護学実習							○	(○)		2	45			●			
成人看護学概論				○						1	8	●					
老年看護学概論				○						1	8	●					
成人病態治療学Ⅰ					○					1	8	●					
成人病態治療学Ⅱ					○					1	8	●					
老年病態治療学					○					1	8	●					
成人急性期看護援助論Ⅰ					○					1	15	●	●				
成人急性期看護援助論Ⅱ						○				1	15	●	●				
成人慢性期看護援助論Ⅰ					○					1	15	●	●				
成人慢性期看護援助論Ⅱ						○				1	15	●	●				
老年看護援助論Ⅰ					○					1	15	●	●				
老年看護援助論Ⅱ					○				1	15	●	●					
成人急性期看護学演習						○	(○)		1	15		●					
成人慢性期看護学演習							○	(○)	1	15		●					
老年看護学演習							○	(○)	1	15		●					
成人急性期看護学実習							○	(○)	3	68			●				
成人慢性期看護学実習							○	(○)	3	68			●				
老年看護学実習Ⅰ					○				1	23			●				
老年看護学実習Ⅱ						○	(○)		3	68			●				

2017年度生 看護学部 看護学科 専攻科目

系列	授業科目	開講期（必修◎/選択○）				単位数	授業回数	授業形態			備考			
		1年次		2年次				講義	演習	実習				
		春	秋	春	秋									
専攻科目														
専攻科目	発達分野看護学	精神看護学概論			◎			1	8	●			[統合共通看護学1]から3単位以上修得すること。 [統合共通看護学2]から3単位以上修得すること。	
		精神病態治療学				◎		1	8	●				
		精神看護援助論Ⅰ				◎		1	15	●				
精神看護援助論Ⅱ					◎		1	15	●	●				
精神看護学演習						◎ (◎)		1	15		●			
精神看護学実習						◎ (◎)		2	45			●		
専攻科目	広域分野看護学	在宅看護学概論		◎				1	8	●				
		公衆衛生看護学概論Ⅰ			◎			1	8	●				
		公衆衛生看護学概論Ⅱ（養護概説）			○				2	15	●	●		
		在宅看護援助論Ⅰ			◎			1	15		●			
		在宅看護援助論Ⅱ				◎			1	15	●	●		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ			○				2	15	●			
		公衆衛生看護方法論Ⅱ				○			2	15	●			
		公衆衛生看護方法論Ⅲ				○			2	15	●			
		公衆衛生看護方法論Ⅳ（学校保健）				○			2	15	●	●		
		公衆衛生看護技術演習Ⅰ				○			2	30		●		
		公衆衛生看護技術演習Ⅱ				○			2	30		●		
		在宅看護学演習					◎ (◎)		1	15		●		
		在宅看護学実習					◎ (◎)		2	45				●
		公衆衛生看護学実習Ⅰ				◎			1	23				●
		公衆衛生看護学実習Ⅱ					○		2	45				●
公衆衛生看護学実習Ⅲ						○	2	45			●			
専攻科目	統合共通看護学1	災害看護学				○		1	8	●				
		リスクマネジメント論				○		1	8	●				
		感染看護学				○		1	8	●				
		国際看護学						○	1	8	●			
	統合共通看護学2	リハビリテーション看護学						○	1	8	●			
		看護管理学						○	1	8	●			
		看護倫理学				◎			1	8	●			
		家族看護学				○			1	8	●			
		看護学教育						○	1	8	●			
		看護の統合と実践（看護研究方法論）						◎	1	8	●			
統合実践看護学	看護の統合と実践演習（卒業研究）						◎	2	30		●			
	看護の統合と実践実習						◎	2	45			●		

卒業要件 一般基礎科目 : 16単位以上
 専攻科目 : 108単位以上
 合計 : 124単位以上